令和６年３月１日 発行（第１１号）

市川市立大洲小学校
学校だより
３月号
発行責任者　　校長　田中 敏則

きずな
絆

よくまなび よくあそび
～ 人生を拓く力の育成 ～
ま な び いっぱい
やさしさ いっぱい
げ ん き いっぱい

未来を生きる子どもたち

「子どもが小さいときに一番してあげなければならないことは、美しいものを見て素直に『いいなあ、美しいなあ』と感動できる心、美しいものを美しいと思える心を養ってあげることだよ。それが、親の大事な務めなんじゃないか。」

詩人であり、書家でもある相田みつを氏の長男・相田一人（かずひと）さんは、自分が父親になったころ、父・みつを氏からよく言われたそうです。

どうすれば、このような心が子どもの中に芽生えるか。みつを氏の答えは、「まず親が感動しないとダメ」と明解。親が、風景でも絵でも音楽でも、美しいものを見て、心の底から「いいなあ」と感動したその心は、必ず子どもの心の中に伝わり、その心が芽生える。それが、氏の持論だったようです。

「美しいものを見て美しいと思える心」というのは、反対に言うと、戦争や環境破壊、犯罪やいじめなどの美しくないものを見て、「これはいけない、これは間違っている」とパッとわかる心のこと。それがなかなかわからなくなっている今の時代を考えると、大事な言葉を、今を生きる私たちに残してくれたと思います。

相田みつを氏はPTAの活動に熱心に取り組んでいたことも知られています。
「最近偶然に、小学校の PTA 会長をしていたころの父のノートが見つかった。そこには、当時の父が、何を考えて PTA 活動をしていたのか、ということが率直につづられていた。今となっては、父を知るための貴重な資料とも言える。私がはっとしたのは、あるページにあった三箇条のメモである。

　１　私たちは未来の社会を予測できない。
　２　子どもたちは、その未来の社会を生きるものである。
　３　その時、親の手は届かない。

とあって、だから、子どもをどんな社会になっても、正しく適応し、たくましく生きられるように育てておくことが、親の大事な務めなのだということ。そして、学校教育も PTA 活動も、その延長線上にあるべきだ、という父の思いが続いていた。」

AIの技術が急速に進み、近い将来、産業や社会のあり方が革命的に変化する兆しがあります。予測不可能な未来を生きる子どもたちが、どんな社会にも正しく適応し、たくましく生きられるようにしていくこと。これが、学校教育や家庭教育の使命なのではないでしょうか。

今年度から、大洲小学校PTAは、同意に基づく任意加入となり、「やりたい人が、やりたいことを、できる時に、楽しんで」活動できるように、PTAの活動内容を見直し、削減・整理したうえで、学級役員を無くし、ボランティア制を導入しました。移行一年目で大変なことも多くあったかとは思いますが、本部役員をはじめとする多くの保護者の方々に様々な面でご協力をいただいたことに、心より感謝申し上げます。

子どもたちの健やかな成長のために、これからも、保護者の皆様としっかりと手を携えて進んでいきたいと考えております。変わらぬご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。
一年間ありがとうございました。

学校関係者評価（学校運営協議会）

学校運営協議会委員による学校評価を行いました。ご意見の概要をお知らせします。

確かな学力

- 授業参観時に、先生と児童の一体感を強く感じた。
- 基本を大切にした学習、体験を重視した活動等の教職員の日々の取り組みが、学力学習状況調査の結果や保護者の評価に表れていると思う。
- 学習意欲が高いのは、興味関心を揺さぶる授業や分かりやすい授業に努めていただいているからと思います。
- タブレットを使いこなせるようになり、調べる楽しみが増え、学習意欲が高まっているのではないでしょうか。

豊かな心

- 明るく元気な挨拶ができたり、校内で出会うと会釈ができたりする児童が多い。
- 教育活動全般を通して、人権意識の向上が見られる。
- ユニバーサルデザインの視点で、分かりやすい活動に取り組み、一人一人が大切にされる教育環境を築いてほしい。
- 芸術文化教室などの文化活動を積極的に進めていたことは、豊かな心の醸成になっていると思う。
- 特別支援教育と外国人児童等、多様性への対応を期待しています。

健やかな体

- 外遊びではなくテレビの前でゲームをしているのが現実なのかもしれない。
- 基本的な生活習慣など、家庭との連携がなければ難しい問題も多々ある。
- コロナは完全に終息っせず、インフルエンザも流行していますが、体力向上のための工夫と努力をしてほしい。
- 「ながなわ大会」や「ドッジボール大会」など、様々な施策が考えられている。
- 運動好きの子どもばかりではないと思うが、「外へ GoGo ウィーク」など、楽しく体を動かす企画を期待します。

信頼される学校

- 地域人材やボランティアを活用したり、体験を重視した学習を進めるなど、特色ある取り組みができている。
- 学校と地域が協力した子どもの見守りは、これからも大切にしたい。
- 「学校だより」やホームページは、児童の様子、学校の様子、地域の様子、また、学校の願いがよくわかり、開かれた学校づくりにつながっている。
- 「特色ある取組や教育」については、大洲小ならではのもの、６年間を通して大きな学びになるものに挑戦してほしい。

クラス替えについて　～全学年で実施します～

次の利点を生かすよう、全学年でクラス替えを実施します。

○子ども同士のかかわりが増え、新しい友だちづくりが期待されます。
○可能な限り学級差を改善し、学級相互の均分化を図ることができます。
○教師にとっては「１年勝負」と期間を決めることで、より集中的・計画的に見通しをもって児童と向き合えます。

学級編制の単年制の良さを認めていただけるよう、今まで以上に全力で指導にあたってまいります。ご理解くださいますようお願いいたします。